

事例⑭

自閉症・情緒障がい特別支援学級に在籍する、伝えることが苦手な児童が考えを発信したくなる工夫

授業づくりの視点

③ 対話的な学びを実現する授業づくり

◆経験の浅い先生たち、学級でこんなこと感じていませんか？

- 思ったことを全て口に出し、内容を整理して伝えることが苦手な子どもに対してどのように指導したらよいか分からない。
- 少人数のため、児童の考えを広げたり深めたりすることが難しい。

◆例えば、「算数科」で、こんなことからはじめてみましょう。

□ 算数科「分数のかけ算」 □ 小学校 □ 特別支援学級（自閉症・情緒障がい）

本時の目標

- ・ 分数の情報について、数の意味と表現をもとにしたり、情報に関して成り立つ性質を用いたりして、計算の仕方を多面的に捉え考える。

ファーストステップ①

- ・ これまでの学習を具体的に振り返り、学習の見通しをもたせましょう。



	学習活動	手立て／留意点
導入	○ 計算練習（ウォーミングアップ） ○ 問題把握 ○ <u>これまでの学習の振り返り</u>	※整数×整数、小数×整数の計算方法を思い出させる。
展開	○ 本時の学習課題設定 ・ 計算の仕方を考える。 ○ 問題解決 ・ 数直線や図を使って説明する。 ・ 算数の言葉を使って説明する。	※児童のつぶやきを大事にする。 ※一緒に言葉を整理し、考えをまとめる。
終末	○ まとめ ○ 確認問題 ○ 振り返り	※次に学習することを予想する。

ファーストステップ③

- ・ どんな伝え方が効果的だったか、どんなことができるようになったかを振り返るとともに、今後の学習に対する意欲を高めましょう。

ファーストステップ！

ファーストステップ②

- ・ 肯定的な言葉をかけ、安心して話ができる雰囲気をつくりましょう。
- ・ 児童とのやり取りでは、教師が「聞き役」や「同級生役」になり、児童が自ら話したくなるような工夫をしましょう。

